

2009(平成21)年10月 受払表

日本スチレン工業会

ポリスチレン

単位:t

	今月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	79,197	95	93
生産	55,658	83	85
出荷	内需	80	97
	輸出	93	121
	計	81	98
月末在庫	77,137	97	84

内需内訳	今月実績	前月比	前年 同月比
電機工業用	11,445	74	90
包装用	25,001	76	96
雑貨産業用	7,028	97	104
FS用	11,839	91	104
合計	55,313	80	97

スチレンモノマー

単位:t

	今月実績	前月比	前年 同月比
繰越在庫	92,697	87	95
生産	239,082	94	118
出荷	内需	94	93
	輸出	88	150
	計	91	115
月末在庫	86,204	93	86

内需内訳	今月実績
GP・HI	53,156
EPS	11,403
AS	2,736
合成ゴム	16,495
不飽和 ポリエステル	1,557
ABS	16,891
その他	19,557
合計	121,795

2009 年 11 月 24 日(火)

PS の 2009 年 10 月度の実績概況

PS 2009 年 10 月度

今月から日本ポリスチレンが会社解散で統計から外れ、3 社の統計となった。

生産は、前年同月比－15%である。定修は 2 社 2 工場(去年は 1 社 1 工場)。

国内出荷は前年同月比－3%となった。先月の日本ポリスチレンによる在庫整理・出荷増の反動もあると推測される。

用途別では電機・工業用が－10%、包装用が－4%、雑貨・産業用、FS 用が共に +4%である。

電機・工業用は、事務機器向けが低調である。デジタル家電向けは堅調である。

包装用は HI シート向けが堅調である。FS 用は PSP 向けが今年一番の出荷量で好調だが、ボード用は不振である。

輸出は前年同月比+21%となった。

出荷計は国内出荷減のため－2%となった。

在庫は、11 月に 2 プラントで定修があるが低水準のままである。

SM の 2009 年 10 月度の実績概況

SM 2009 年 10 月度

生産は、稼働率も高く前年同月比で+18%となり、7 ヶ月連続で前年を上回った。定修は 2 社 2 工場であった。(去年は 3 社 3 工場)

国内出荷は、合成ゴム向けや ABS 向けなどが前年同月を上回った。中でも合成ゴム向けの回復が目立っている。しかし、大宗を占める PS 向けが前年同月を下回ったため、前年同月比－7%となっている。

輸出は、数量は落ちてきたが好調で 9 ヶ月連続のプラス。前年同月比は+50%である。

出荷計は輸出が好調で前年同月比+15%。8 ヶ月連続のプラスである。

在庫は更に減少して 8.6 万トンである。

以上